

次世代セルフサービス型ビジュアライゼーションツール

## Qlik Sense



直感的な操作でデータ分析をより身近に

QlikSenseは、

直感的にデータ探索と発見を可能にするセルフサービス型の次世代データビジュアライゼーションアプリケーションです



つなぐ



みる



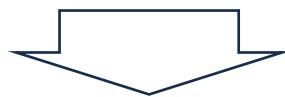
とく



みとおす

を備えています

「どうしてもよいかを分かるようにするためのBIシステム」なのに、  
「どうしてもよいかを最初に決めなければ導入できない」...



『QlikSenseは最初にどのデータを使うかだけを決めれば、ユーザーが自分で考えながら、任意のデータを自由な視点から簡単に可視化・分析することができる統合環境です』

データ分析を始めるの目的を明確に設定

## Qlik Sense

ガバナンス (統合環境)

セルフサービス型ビジュアライゼーション

連想技術、ロードスクリプト

拡張知能、Insight Advisor

統計関数、R, Python連携



つなぐ



みる



とく



みとおす

### 1. 情報の収集、蓄積

部門や部署が有機的に“つながり”、断絶しない多種多様なデータプロセスにおいて“収集”して“蓄積・統合”する事により、横断的な取り組みが可能になり、付加価値の創出に“つなぐ”。

### 2. データの前処理

分析を行う前に、データの欠損値や異常値“ノイズ”等を理解し、除去・補完などデータのクリーニング等の前処理を行う。

### 3. データの可視化

企業活動で欠かせない多種多量な情報を“みえる”化して、必要な時に必要な情報を視覚的に自ら絞り込み・分類し、変化の気付きを“みる”事で競争力を高める。

### 4. データの分析

～物事を要素に分解し、要素を明らかにする～よみ“とく”  
多種多量なデータを分類して、特定のある“部分”に着目(仮説)する事で、全体で見えなかった新たな事実を効率的に数値、グラフから要約する。

### 5. データの予測

過去および現在のデータを分析し、未来の出来事やトレンドで先を“見通し”、ビジネスの意思決定を支援、リスクを最小限に抑える。

💡 収集したデータの理解と分析前のデータの前処理が重要。その後の分析に影響するプロセスを“Qlik Senseの統合環境”で整備出来ます。

Qlikは、データ統合とデータ分析を含む、企業DXの取り組みをご支援致します。

Qlik Senseは、データの可視化と分析を簡単かつ直感的に行うためのビジネスインテリジェンス (BI) ツールです。ユーザーはドラッグ&ドロップ操作でデータを探索し、インタラクティブなダッシュボードやレポートを作成できます。

クラウド対応で、どこからでもアクセス可能なため、チーム全体でのコラボレーションが容易です。また、セルフサービスBI機能により、技術的な知識がなくてもデータからインサイトを得ることができます。



## QlikSenseの特長

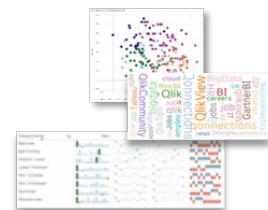
### 1. 連想技術

Qlik Senseの最大の特徴は、QlikView同様、独自の連想エンジンです。これにより、異なるデータソース間の関連性を自動的に見つけ出し、ユーザーが新たなインサイトを発見が出来ます。



### 2. セルフサービス型ビジュアライゼーション

ユーザーはドラッグ&ドロップ操作で簡単にデータを取り込み、グラフやダッシュボードを作成できます。プログラミングの知識がなくても直感的に操作可能です。データの規模を問わず、データを容易に結合・読み込み・可視化・探索することができます。



### 3. AIと機械学習を活用した“拡張知能”

Qlik Senseは、“拡張知能”により、分析準備前の各データの関連づけ(紐づけ)、取込まれたデータ全体からの推奨チャートの作成などデータの分析やインサイトの生成を自動化します。

- ・データ準備時のデータプロファイルと関連付け自動化
- ・データ全体から“Insight Advisor”によるチャートの作成自動化
- ・推奨チャート選択の自動化
- ・隠れた関連性への気付きを自動化



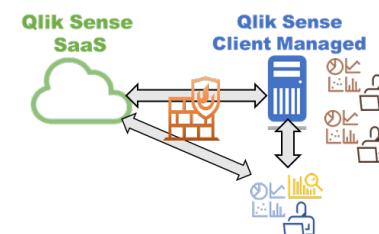
### 4. ガバナンス

Qlik Senseは、データレベル(行・列)レベルでの細かなセキュリティ設定が出来るなど、ガバナンスを備えた集中管理されたライブラリと柔軟なルールに基づくセキュリティによりデータおよび分析の一貫性を保証。統合環境でのセルフサービスBI環境を提供し、データの不整合や作業の非効率性を排除します。



### 5. ハイブリッドクラウドプラットフォーム

Qlik Senseは、オンプレミス、クラウド、またはその両環境におけるハイブリッド展開が可能です。柔軟なデータ管理と分析を実現します。またクラウド環境 (QlikCloud) においては、アラート、レポート機能などが組み込まれているなど、企業がデータを効率的に活用頂く環境をご利用頂けます。



# Qlik Sense ライセンス

シンプルなライセンス構成。最小構成（Professional x 1〜）からスタート可能。システムやビジネスの成長や変化に応じて柔軟な対応が可能でスケラビリティに優れたサブスクリプションライセンスです。

## サブスクリプション ライセンス

ライセンス	ライセンス条件	Professional 開発/参照	Analyzer 参照	Analyzer Capacity 参照
		指定ユーザー	指定ユーザー	不特定ユーザー (1ライセンス=1000分/月)
機能制限	アプリ作成	○	—	—
	シート作成	○	—	—
	データ更新	○	—	—
	ブックマーク作成	○	○	○
	ストーリー作成	○	○	○
	データ出力 PDF、PPTW、CSV	○	○	○
	ODAG	○	○	○

※Qlik Sense Server機能はProfessionalライセンスに付随します。

## システム要件

QlikSense環境はQlikクラウドまたは、オンプレミスでの選択が可能です  
※QlikSaaS + オンプレミスのハイブリッドでのご利用も可



## 【サーバー環境】

	Windows版 (Client Managed)	Qlik SaaS版
サーバー	Windows Server 2016以降 メモリ:8GB以上（アプリサイズにて要拡張）※1 CPU:MultiCore 64Bit互換 ディスク容量：900MB以上（インストール時） セキュリティ：Microsoft Active Directory、NTLM、他	Qlik Cloud メモリ：最大アプリサイズ：5GB ※1 ディスク容量：無制限
クライアント	各種ブラウザ ・Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari コンテンツはWebブラウザにて開発 ※Qlik Sense Desktop（ローカル）でも開発可能	

※1 Qlik Senseはインメモリ分析技術を採用しています。Qlik Sense製品に必要とされるメモリは、取り扱うデータの容量によって変動する場合があります。

## 【機能概要】

サブスクリプション	Windows版 (Client Managed)	Qlik SaaS
サーバー	お客様が管理するWindowsサーバーにインストール	Qlik Cloudを利用※リージョンを北米、欧州、アジア（日本含む）
アップデート	基本メジャーアップデート(4回/年)	基本メジャーアップデート(4回/年)、週単位での細かいアップデート
管理機能	詳細な設定項目（英語）	シンプルな設定項目（日本語）
認証	Windows認証（AD）、SAML、OIDC、Ticketing、Header、JWTなどに対応	OIDC（Okta、Auth0、ADFS、AzureAD、SFDC等）、JWT、Qlikアカウントに対応
アクセス管理	属性の組み合わせでアクセス権限を詳細に管理（属性ベースアクセス制御） アプリは個人用ストリームで作成・編集（共同編集不可）	個人スペース、共有スペース、管理スペースの3種類のスペースで管理 アプリのUIを共同編集可能
データコネクタ	多種多様なコネクタを標準実装（内容の相違あり）	
データカタログ	Qlik Catalog(別オプション)	データカタログ標準機能※データソースのカタログ化（公開）
レポート・アラート	レポート・アラート・ノートなど別途オプション（NPrinting）	レポート・アラート・ノートなど標準機能
その他	—	Qlikviewコンテンツの閲覧可能

- 本資料に掲載してある技術情報は、技術内容を説明するためのもので、その使用に際して当社および第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。
- QlikSense はQlikTech International ABの登録商標または商標です。
- 資料の掲載内容は、技術の進歩などにより予告なしに変更することがあります。

## 東芝ユニファイドテクノロジーズ株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 ラゾーナ川崎東芝ビル7階

- ・ホームページからのお問い合わせ： <https://www.toshiba-dme.co.jp/dme/contact/index.htm>
- ・電子メールでのお問い合わせ、当社メールマガジン購読申込： [DME-contact-us@ml.toshiba.co.jp](mailto:DME-contact-us@ml.toshiba.co.jp)
- ・ホームページ： <https://www.toshiba-dme.co.jp>

▼お問い合わせはこちら▼



▼当社について▼

